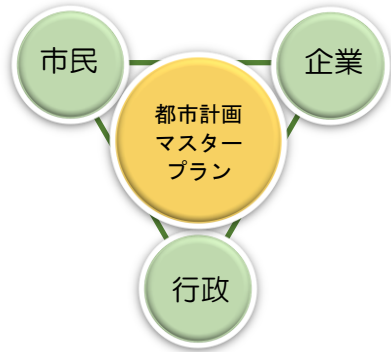
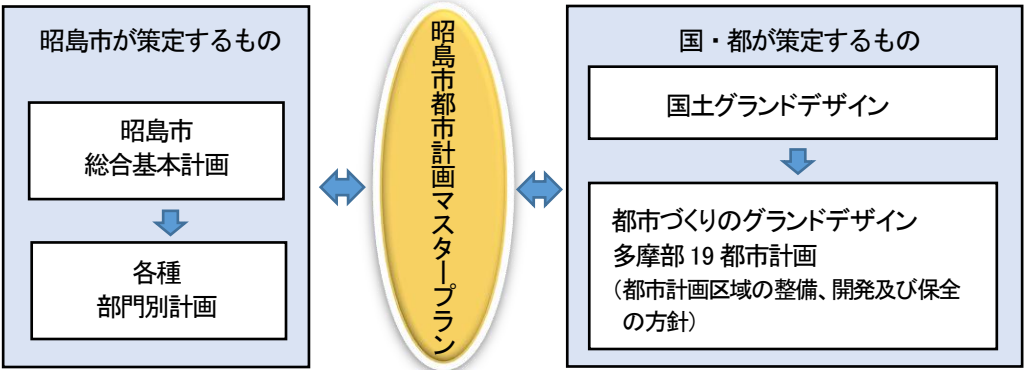


1. 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは、20 年後の将来を見据え、市民・企業・行政が一体となって取り組んでいくまちづくりの方針です。



●都市計画マスタープランの位置づけ



3. 現在までの検討状況

【まちづくりの目標】

人口減少社会においても、都市の魅力や生活の質を高め、住みたい・住み続けたいまちづくりを展開していくために、以下の3つを基本目標とすることにしました。



【まちづくりの方針と主要テーマ】

まちづくりの目標を達成するために、5つの方針とそれぞれの方針の主要テーマを次のとおりとしました。

方針1 土地利用の方針	1) まとまりと調和のある市街地づくり
方針2 都市基盤の整備方針	1) 快適で利便性の高い交通環境の形成 2) 駅周辺及び沿道の環境整備 3) 市民生活を支える給排水施設の整備
方針3 安全・安心なまちづくりの方針	1) 防災・減災・防犯対策の推進 2) 誰もが共に暮らせる都市づくり
方針4 水と緑のまちづくりの方針	1) 自然にやさしい環境共生の仕組みづくり 2) 水を大切にするまちづくり 3) やすらぎと潤いのある緑豊かな環境づくり
方針5 住宅・住環境整備の方針	1) 個別の居住ニーズに応じた住まいの確保 2) 安全で環境に配慮した住まいづくり 3) 快適な生活環境の形成

2. 次期都市計画マスタープランの構成

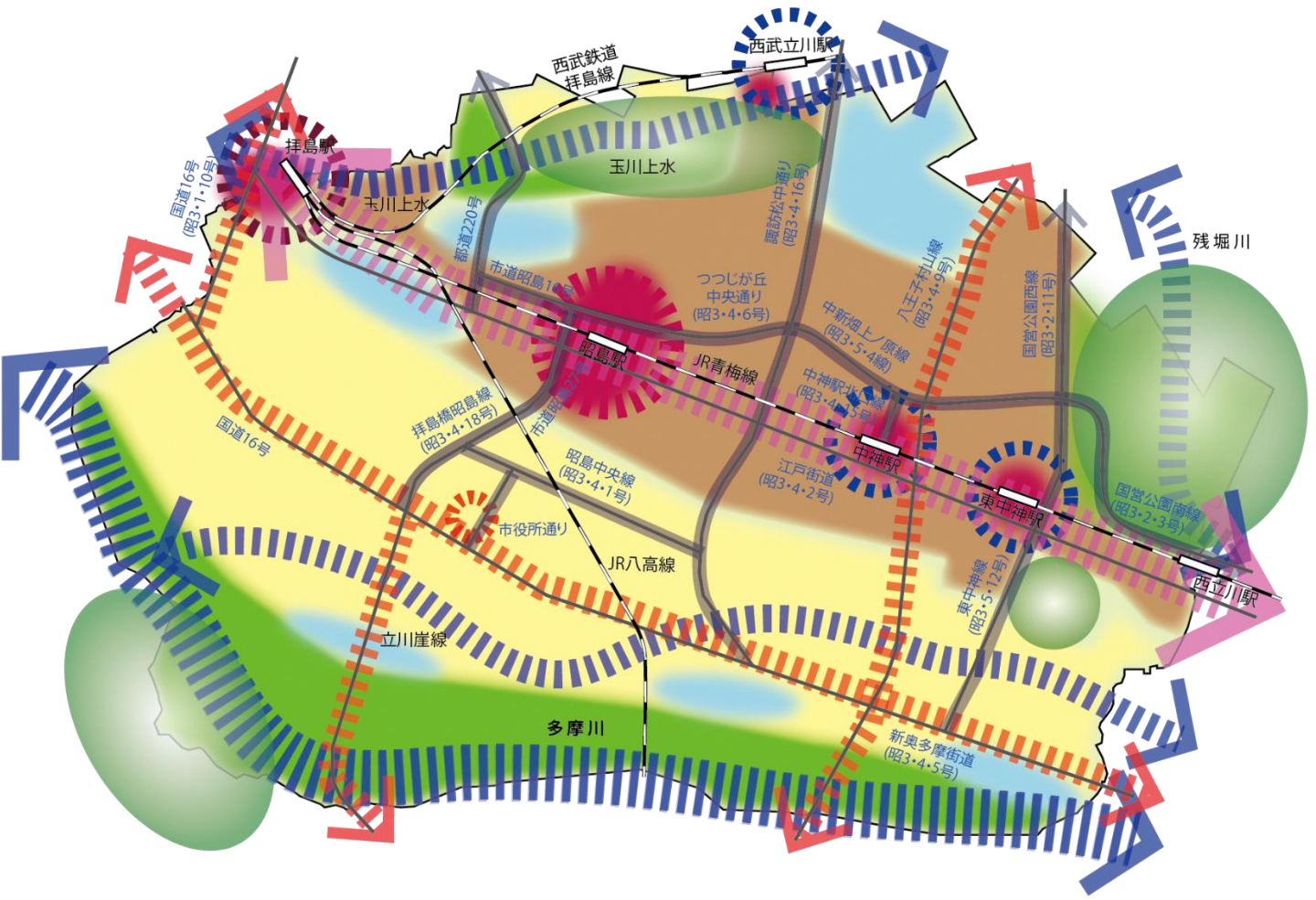
都市計画マスタープランの主要な構成は次のとおりです。

1. まちづくりの目標と将来都市構造
2. まちづくりの基本方針
 - 1) まちづくりの方針と主要テーマ
 - 2) 方針別の主な取組
3. 地域別まちづくりの方針
4. 実現化への取組み

今回、ご意見を伺いたい箇所

【将来都市構造】

将来都市構造とは、まちづくりの基本目標を踏まえて、本市が目指すべき将来のまちの姿について「拠点」や「軸」などを位置づけることにより、都市の骨組みを明確にしていくものです。



【都市拠点】	【都市軸】	【水と緑の骨格】	【ゾーン】
中心拠点 行政拠点 交通結節拠点 地域拠点	広域交流基幹 広域交流軸 都市連絡軸	緑の拠点 水と緑の主軸	にぎわいと交流を育むゾーン 水と緑を守り育てるゾーン 環境に配慮した生産・流通ゾーン 緑豊かに住まうゾーン 快適な都市生活を創るゾーン

4. 地域別まちづくりの方針(現状と課題)

まちづくりの方針に示した基本的な方向性を踏まえて、地形や土地利用など地域の特性に着目して、市全体を5つの地域に区分しています。

第1地域

大神町(丁目外)の一部、築地町、中神町(丁目外)、福島町(丁目外)、宮沢町(丁目外)、武蔵野2～3丁目、もくせいの杜1～3丁目

【地域概況】

- ・広大な面積を有する国営昭和記念公園の立地
- ・もくせいの杜での新市街の整備の進展
- ・地域北西部の武蔵野に、工場団地が形成
- ・中神駅北側における土地区画整理事業の取組み
- ・地域中央部は、公営住宅や医療施設等福祉施設が集積
- ・都市農地は少ない
- ・都市計画道路は9路線あり、2路線が事業中
- ・JR青梅線の3駅があり、中神駅は乗降客数が増加傾向
- ・都市計画公園は9ヶ所のうち6ヶ所が開設
- ・玉川上水から取水している柴崎分水が流れている
- ・今後の動きとしては、東中神駅周辺の拠点性の向上が見込まれる

【まちづくりの課題】

①自然環境における課題

- ・国営昭和記念公園昭島口周辺の再整備
- ・都市計画公園3園が未整備
- ・事業所や住宅の間に残る生産緑地の保全

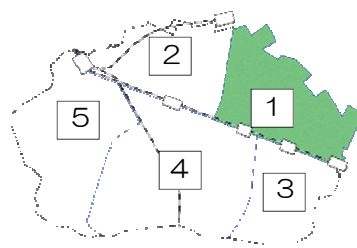
②生活における課題

- ・住宅と工場や事業所との共存
- ・災害時の避難・救援機能の強化
- ・もくせいの杜の新市街地整備に伴う生活利便機能の確保

③都市基盤における課題

- ・中神・東中神駅周辺の商業・業務機能の充実
- ・長期化している中神土地区画整理事業の今後を見据えた検討
- ・もくせいの杜の道路につながる都市計画道路の早期整備

＜位置＞

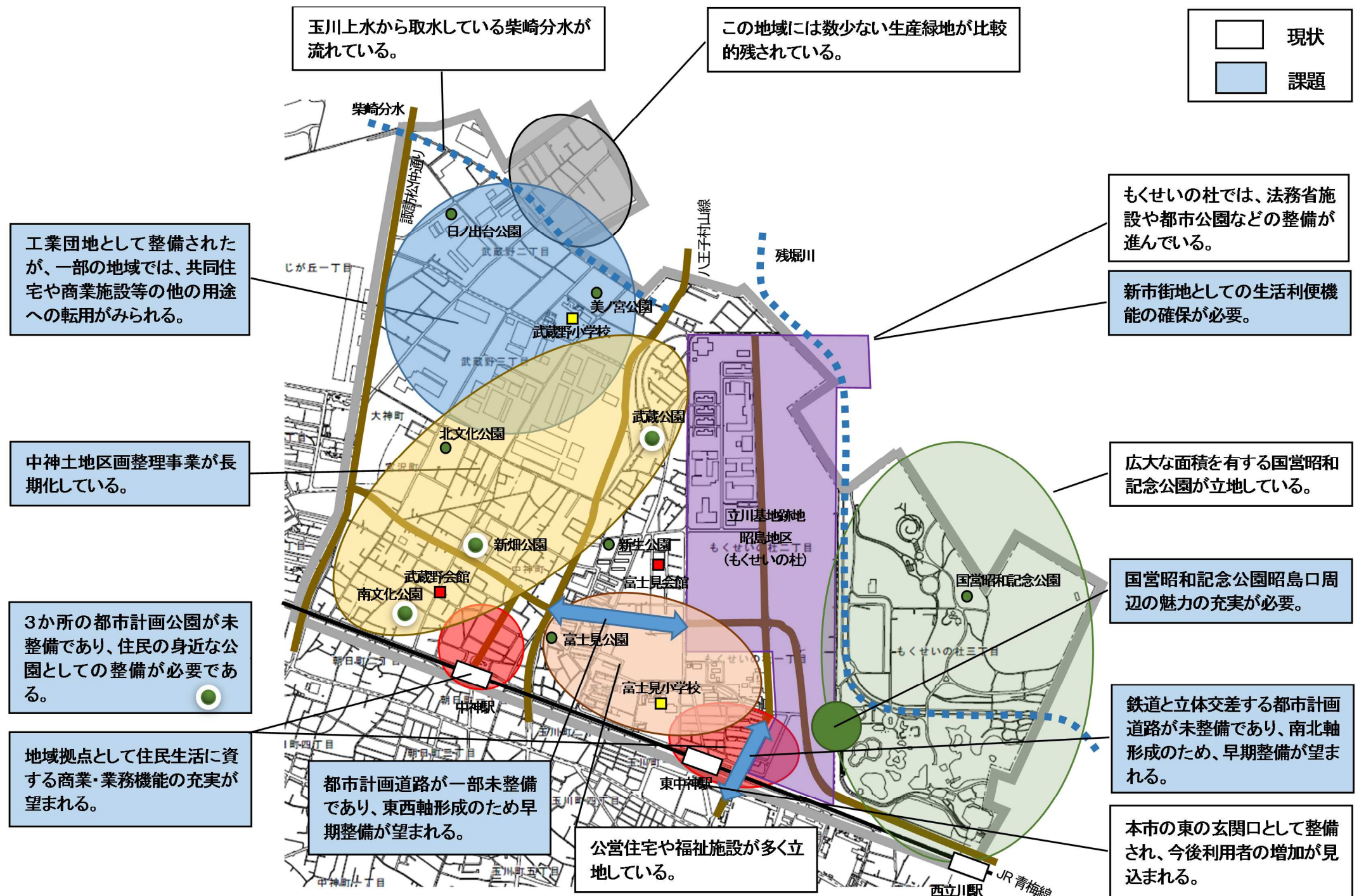
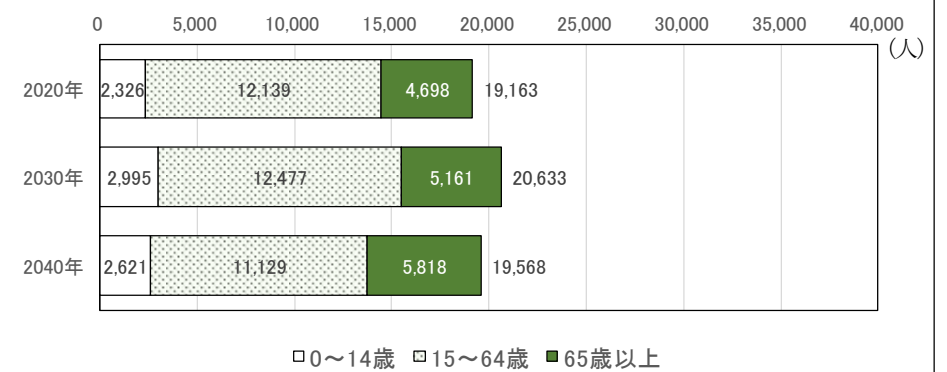


＜面積と人口・世帯指標＞

	市全体	第1地域
面積	17,330km ²	3,257km ²
人口	113,434人	19,329人
世帯数	54,373世帯	9,460世帯
1世帯当たり人口	2.1人/世帯	2.0人/世帯
人口密度	6,546人/km ²	5,935人/km ²
年少者人口(割合)	14,045人(12.4%)	2,325人(12.0%)
高齢者人口(割合)	29,670人(26.2%)	4,672人(24.2%)

(2020年2月時点)

＜2019年時点での将来人口見通し(昭島市人口ビジョン【未確定値】)＞



4. 地域別まちづくりの方針(現状と課題)

まちづくりの方針に示した基本的な方向性を踏まえて、地形や土地利用など地域の特性に着目して、市全体を5つの地域に区分しています。

第2地域

大神町(丁目外)の一部 上川原町(丁目外)、田中町(丁目外)、つつじが丘1～3丁目、拝島町(丁目外)、美堀町1～5丁目

【地域概況】

- ・昭島駅北側は、商業・業務・文化等の機能が集積
- ・西武立川駅南側は周辺住民の生活利便に資する商業機能が立地
- ・地域東部のつつじが丘2～3丁目や拝島駅東側の美堀町5丁目には、大規模集合住宅が立地
- ・玉川上水の北側には、低層住宅が立地
- ・都道220号沿いには工場や流通施設等が立地
- ・都市計画道路は整備完了だが、道路網の南北の構造が弱い
- ・鉄道駅は3ヶ所あり、拝島駅は複数の鉄道が乗り入れる交通結節点
- ・都市計画公園は2ヶ所、また都市農地は多くないが、玉川上水沿いやゴルフ場、エコパークなど緑が豊富
- ・今後の動きとしては、図書館機能を有するアキシマエンス(教育福祉総合センター)が交流拠点として活用

【まちづくりの課題】

①自然環境における課題

- ・企業とも連携した緑の保全や、市民に開かれた緑の空間としての活用
- ・市民の憩いの場である玉川上水周辺やエコパークについては、総合的な環境学習の場としても引き続き活用
- ・住宅地の中に残る都市農地の保全

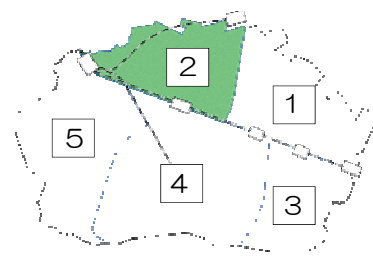
②生活における課題

- ・人口減少社会における大規模集合住宅の今後についての検討
- ・災害時の避難・救援機能の強化
- ・航空機騒音の軽減と生活環境の保全及び、著しい航空機騒音による集団移転後に残された国有地のあり方の検討

③都市基盤における課題

- ・いちよう並木やアキシマエンス等を含めた、昭島駅周辺一帯における南北の回遊性向上への取組
- ・昭島駅北側での週末の交通渋滞の解消
- ・拝島駅東側のJR八高線高架箇所の南北道路の改善

＜位置＞

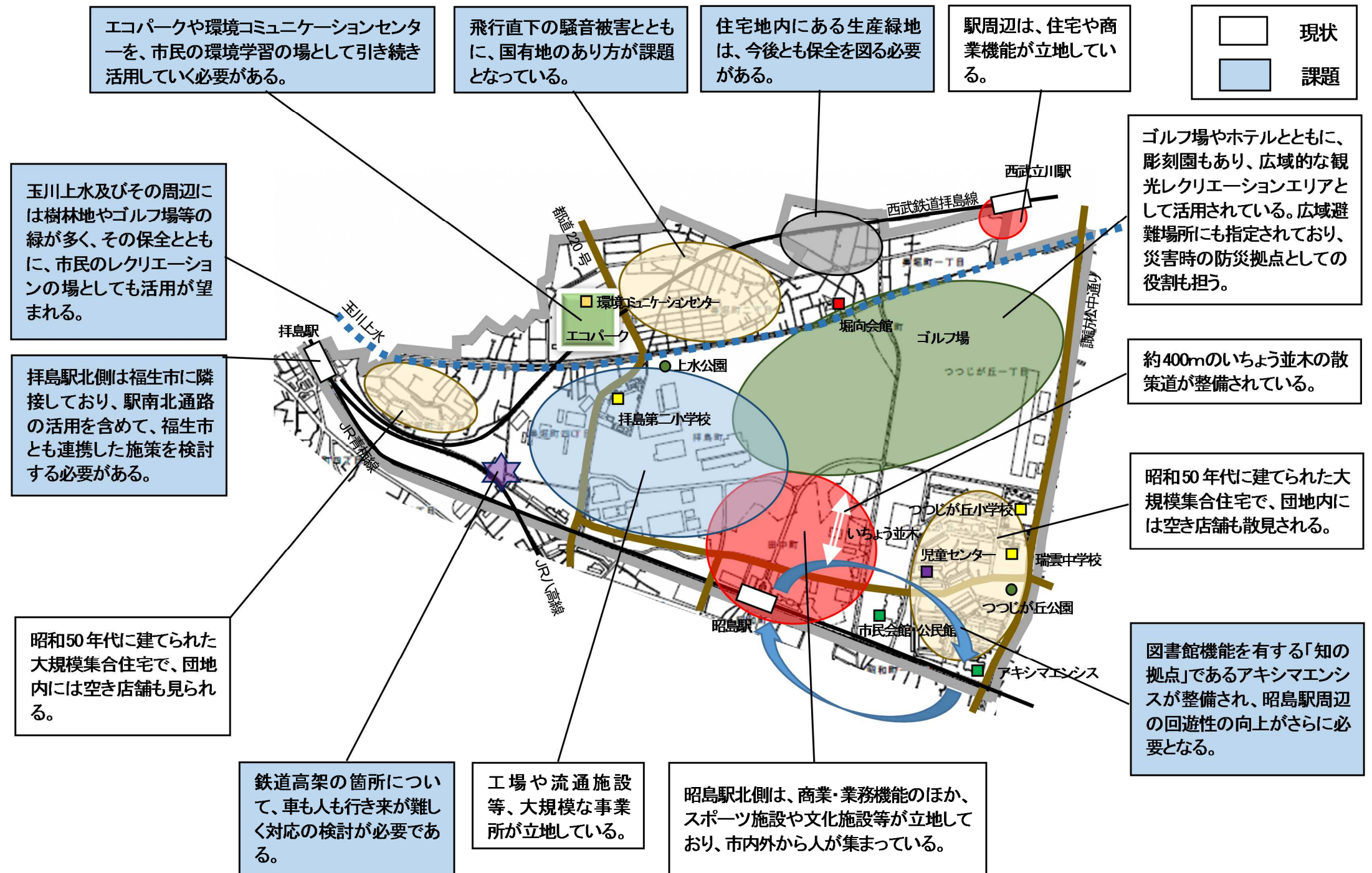
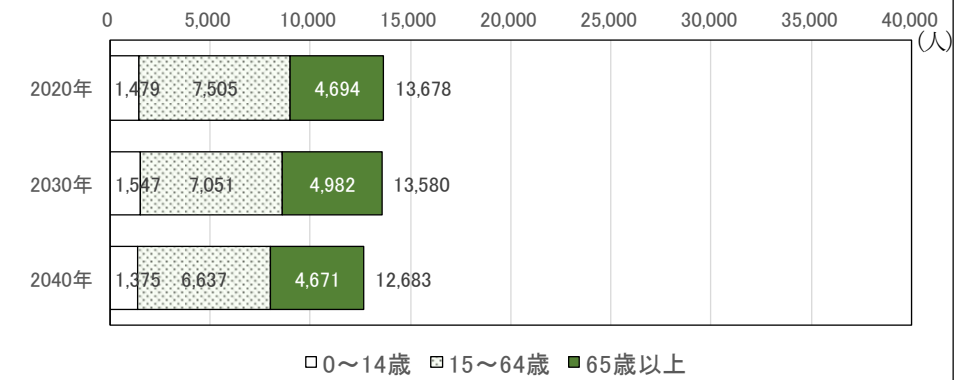


＜面積と人口・世帯指標＞

	市全体	第2地域
面積	17,330km ²	2,853km ²
人口	113,434人	13,547人
世帯数	54,373世帯	6,423世帯
1世帯当たり人口	2.1人/世帯	2.1人/世帯
人口密度	6,546人/km ²	4,748人/km ²
年少者人口(割合)	14,045人(12.4%)	1,436人(10.6%)
高齢者人口(割合)	29,670人(26.2%)	4,618人(34.1%)

(2020年2月時点)

＜2019年時点での将来人口見通し(昭島市人口ビジョン【未確定値】)＞



4. 地域別まちづくりの方針(現状と課題)

まちづくりの方針に示した基本的な方向性を踏まえて、地形や土地利用など地域の特性に着目して、市全体を5つの地域に区分しています。

第3地域

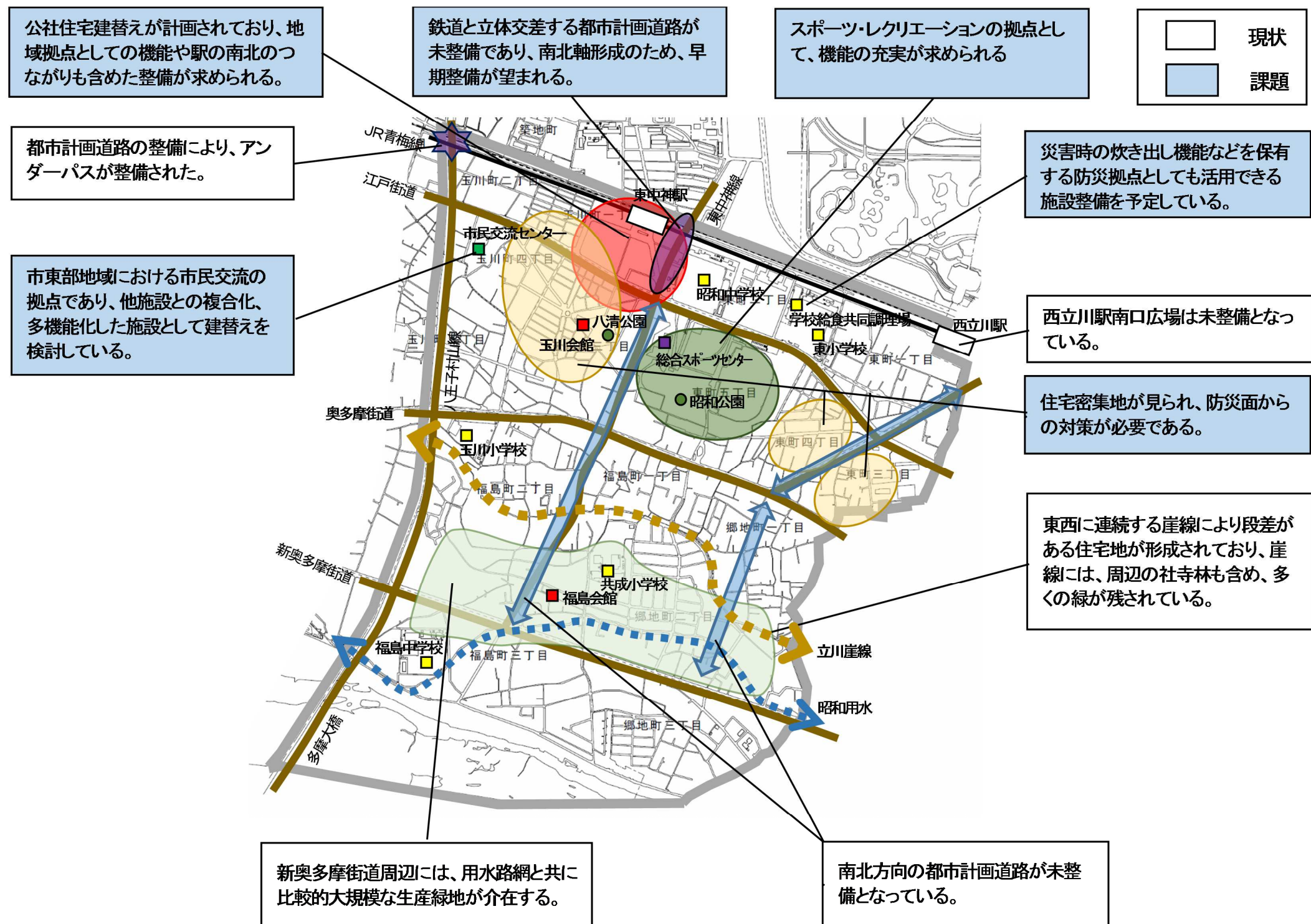
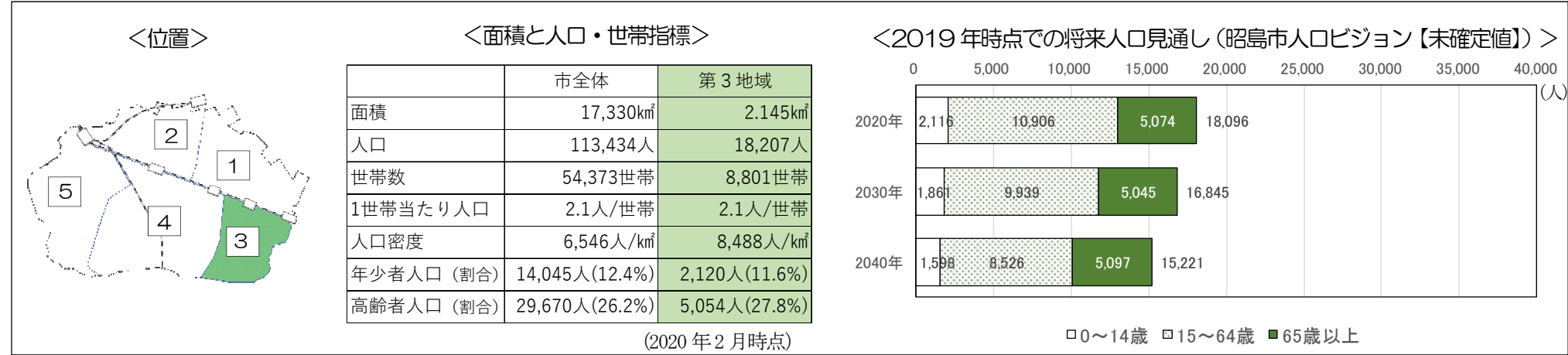
東町1～5丁目、郷地町1～3丁目、玉川町1・3丁目、玉川町2・4・5丁目の一部 福島町1～3丁目

【地域概況】

- 東中神駅南口周辺には商店街が形成されているが、店舗は減少傾向
- 地域全体に住宅地が形成されており、江戸街道周辺には住宅密集地が見られる
- 新奥多摩街道沿いにはまとまった農地が分布
- 奥多摩街道南側には社寺の分布が多く、崖線沿いには社寺林を含め、緑が豊富
- 都市計画道路は8路線あり、4路線が整備済み
- JR青梅線の2駅があり、2駅とも乗降客数は1日1万人強
- 都市計画公園は2ヶ所、昭和公園はスポーツ・レクリエーションの拠点として利用
- 地域の南側は多摩川が流れ、用水路網が形成
- 今後の動きとしては、東中神駅周辺で公社住宅の建替等による拠点性の向上が見込まれる

【まちづくりの課題】

- ①自然環境における課題
 - 草木類の繁茂や土砂崩れが危惧される崖線の保全
 - スポーツ・レクリエーションの場としての昭和公園の機能更新・充実
 - 都市内のまとまった緑地空間としての生産緑地の保全
- ②生活における課題
 - 防災において課題となる住宅密集地や空き家等の対策
 - ゲリラ豪雨や台風時の治水対策と災害時の避難・救援機能の強化
 - 日常生活を支える商業機能の活性化
- ③都市基盤における課題
 - 東中神駅周辺において拠点性の向上に資する機能の導入
 - 交通渋滞の解消や、災害時に機能を発揮する南北方向の都市計画道路の整備
 - 老朽化している市民交流センターについて、他施設との複合化、多機能化を含めた整備



4. 地域別まちづくりの方針(現状と課題)

まちづくりの方針に示した基本的な方向性を踏まえて、地形や土地利用など地域の特性に着目して、市全体を5つの地域に区分しています。

第4地域

朝日町1～5丁目、大神町1～4丁目、昭和町1～5丁目、上川原町1～3丁目、田中町1～4丁目、玉川町2・4・5丁目の一部、中神町1～3丁目、松原町1丁目、宮沢町1～3丁目

【地域概況】

- ・昭島駅・中神駅の南口、江戸街道沿いに商業・業務機能の集積あり
- ・地域全体に住宅地が形成され、一部に住宅密集地あり
- ・地域中央部には、都市農地が多く分布
- ・奥多摩街道沿いには社寺が分布、五日市鉄道廃線跡は道路として整備
- ・行政サービスの拠点の市役所と、健康・福祉サービスの拠点の保健福祉センター（あいぽっく）が立地
- ・都市計画道路は8路線のうち、4路線が整備済み
- ・JR青梅線の2駅があり、中神駅は乗降客数が増加。また、地域内をJR八高線が縦断
- ・都市計画公園は7ヶ所、多摩川の河川敷一帯は都市計画緑地に指定されている
- ・崖線沿いには、社寺林を含め緑が豊富で、湧水地もあり
- ・今後の動きとしては、市役所へのアクセス道路となる昭島中央線の整備による拠点性の向上

【まちづくりの課題】

①自然環境における課題

- ・自然に親しむ場、生物多様性の場としての多摩川河川敷の環境整備
- ・草木類の繁茂や土砂崩れが危惧される崖線の保全
- ・都市内のまとまった緑地空間としての生産緑地の保全

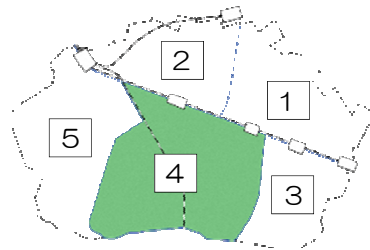
②生活における課題

- ・防災において課題となる住宅密集地の対策
- ・航空機騒音の軽減や生活環境の保全
- ・ゲリラ豪雨や台風時の治水対策と災害時の避難・救援機能の強化

③都市基盤における課題

- ・昭島駅周辺の回遊性の向上と市の玄関口としての魅力づくり
- ・交通渋滞の解消や拠点性の向上に資する都市計画道路の早期整備
- ・中神駅南口の駅前広場を含む都市計画道路の整備
- ・JR八高線小宮～拝島駅間の新駅設置

＜位置＞

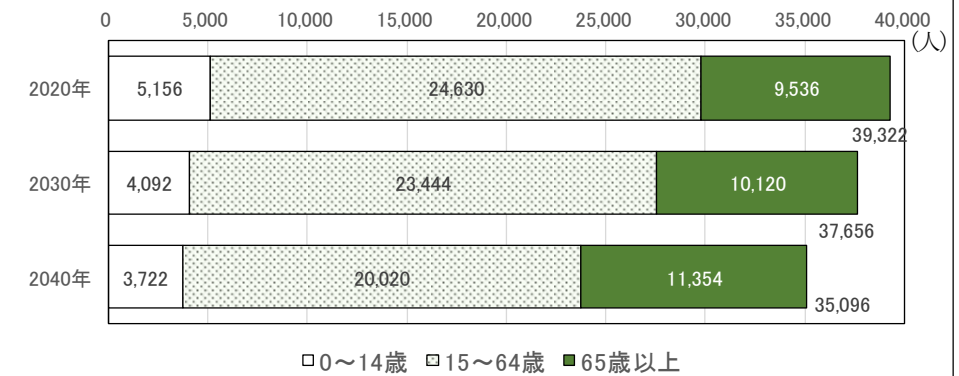


＜面積と人口・世帯指標＞

	市全体	第4地域
面積	17,330km ²	5,287km ²
人口	113,434人	39,421人
世帯数	54,373世帯	18,659世帯
1世帯当たり人口	2.1人/世帯	2.1人/世帯
人口密度	6,546人/km ²	7,456人/km ²
年少者人口（割合）	14,045人(12.4%)	5,213人(13.2%)
高齢者人口（割合）	29,670人(26.2%)	9,425人(23.9%)

(2020年2月時点)

＜2019年時点での将来人口見通し(昭島市人口ビジョン【未確定値】)＞



東西軸の地域内幹線として、また市役所の拠点性を高めるアクセス道路として、早期整備が必要である。

市役所は、行政サービスの拠点であるとともに、防災拠点でもある。

JR八高線小宮～拝島駅間の新駅設置が望まれている。

本地域は、昭島市の中では生産緑地を含め、農地が比較的多く分布している。

昭和50年代に建てられた大規模集合住宅がみられる。

歩行者・自転車の安全確保や、鉄道踏切を起因とする渋滞の解消が求められている。

北口と一体となった回遊性の向上や、市の玄関口としての魅力づくりが必要である。

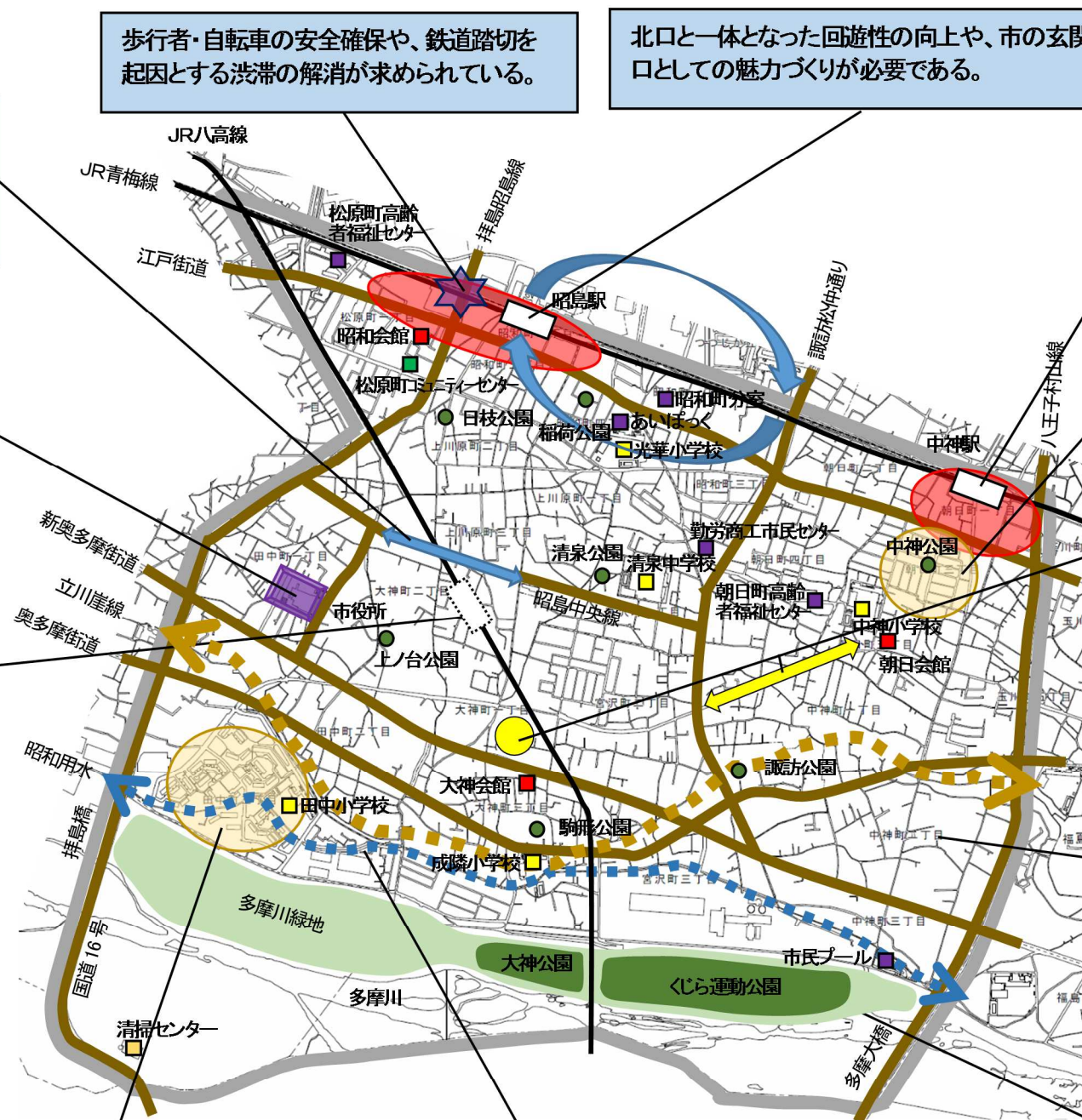
駅前広場の整備を含め、地域拠点としての中神駅周辺のサービス機能の充実が求められている。

住宅密集地がみられ、防災面からの対策が必要である。

五日市鉄道廃線跡や、奥多摩街道沿いを中心に残っている社寺及び社寺林は、散策や緑のスポットとなっている

東西に連続する崖線により段差がある住宅地が形成されており、崖線には、周辺の社寺林も含め、多くの緑が残されている。

多摩川緑地は広域的なスポーツ・レクリエーションの場として、また生物多様性や環境学習の場としての保全・活用が望まれる。



4. 地域別まちづくりの方針(現状と課題)

まちづくりの方針に示した基本的な方向性を踏まえて、地形や土地利用など地域の特性に着目して、市全体を5つの地域に区分しています。

第5地域

栢島町1～6丁目、松原町2～5丁目、緑町1～5丁目

【地域概況】

- 栢島駅南口周辺では、商業・業務機能を中心とした立地が進行
- 地域内は住宅地が大半を占めるが、新奥多摩街道周辺を中心に都市農地も多く残されている
- 松原町2～3丁目は、工場跡地に立地する大型の商業・業務・医療施設あり
- 奥多摩街道沿いには社寺が分布、五日市鉄道廃線跡は道路として整備
- 都市計画道路6路線のうち3路線が整備済み。国道16号(小荷田～松原地区)は6車線化が完了し、交通渋滞が解消
- 栢島駅は複数の鉄道が乗り入れる交通結節点
- 都市計画公園は5ヶ所、多摩川の河川敷一帯は都市計画緑地に指定されている
- 奥多摩街道沿いには社寺林等の緑のスポットや湧水地があり、用水路もみられる

【まちづくりの課題】

①自然環境における課題

- 自然に親しむ場、生物多様性の場としての多摩川河川敷の環境整備
- 草木類の繁茂や土砂崩れが危惧される崖線の保全
- 都市内のまとまった緑地空間としての生産緑地の保全

②生活における課題

- ゲリラ豪雨や台風時の治水対策と災害時の避難・救援機能の強化
- 農地から住宅地への転用に伴う安全対策

③都市基盤における課題

- 栢島駅南口周辺の商業・業務機能の充実の推進
- 社寺の集積や五日市鉄道廃線跡などの歴史・文化的資源の保全・再生・活用促進

